

経営理念と環境方針

環境保全は、経営理念や当面の中期経営計画を実行するための最重要課題の一つです。企業の発展とともに環境保全の活動を進めていきます。

企業変革の歩みを止めることなくさらなる発展へ

三井金属グループは「創造と前進を旨とし、価値ある商品によって社会に貢献し、社業の永続的発展・成長を期す」ことを経営理念とし、真に強い企業体質を作り、皆様から一層信頼される企業になることを目指しています。

経営を取り巻く環境に大きなうねりが絶え間なく押し寄せる昨今、もはや「変化」が起きることは当然といえる時代となりました。企業にこうした難題が強いられる時代にあつて、三井金属グループは、どのような環境でも収益を確保しつつ事業を通じて社会に貢献できるようさまざまな施策を実行してきました。しかし、私たちは決して現状に満足はしていません。変化の時代、企業も常に変革し続けることが求められています。今後も私たちは、企業変革の歩みを止めることなく、さらなる発展へ前進し続けてまいります。

2005年4月からスタートした3ヶ年中期経営計画においては、企業価値重視、技術力の強化、積極投資と財務体質強化、経営の透明性向上とコーポレートガバナンスの強化を目標として電子材料、金属・環境、自動車用機能部品の3分野の既存事業を強化しつつ、次なる飛躍の準備を進めました。2009年3月までに2009年度次期中期経営計画を策定し、事業の成長に加えて環境保全への貢献についても進めてまいります。

事業活動を展開するに当たり、さまざまなリスクがありますが、環境規制もその一つです。三井金属グループでは国内外の事業所において、環境関連法令に基づき、大気、排水、土壌、地下水などの汚染防止に努めています。

地球環境保全は経営上の最重要課題の一つ

環境事業を進める三井金属グループは、地球環境の保全を経営上の最重要課題の一つとして位置付けています。環境マネジメントシステムであるISO14001の認証取得もしくはこれに準拠した環境管理体制の整備を着実に進め、現在、事業活動のあらゆる場面で環境保全に配慮した取り組みを行っています。

こうした取り組みのベースとなるのが2001年4月に策定された「環境基本方針」です。基本方針は「事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動すること」を理念とし6つの方針を定めています。また、この基本方針を「三井金属グループの全世界の各所社に適用する」ことを明記しています。

環境基本方針

【理念】地球環境の保全を、経営上の最重要課題の一つとして位置付け、事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動する。

- 【方針】
1. 環境関係法規等を遵守するとともに、必要な自主基準を設け、環境汚染の予防、環境負荷低減に努める。
 2. 環境保全活動を推進するため、三井金属グループの各所社において、組織および体制の整備をはかる。
 3. 地球温暖化防止、廃棄物の削減、環境汚染物質の排出量削減について、目標を定めて取り組む。
 4. 環境に配慮した技術、材料および商品の開発を積極的に推進する。
 5. 定期的な監査を実施し、環境管理システムの継続的な改善をはかる。
 6. 三井金属グループで働くすべての人々に対し、環境に関する教育・啓蒙等を通じて、環境保全の重要性を認識させ、意識の向上をはかる。
- この基本方針は、三井金属グループの全世界の各所社に適用する。

2007年6月28日 三井金属 社長 竹林 義彦